

## 「第4回 ジュニアセッション」のお知らせ

主催：日本天文学会 共催：天文教育普及研究会 後援：日本惑星協会

中学生・高校生が発表するジュニアセッションを、2002年の春季年会で開催します。ジュニアセッションの目的の1つとして、天文学会で最新の天文学に触れてもらって天文を楽しんでもらうということがあります。天文に関係することについて観測したり調べたりしたことがあれば、是非、発表を申し込んでください。発表内容のレベルは問いません。皆さんの熱意の方が重要です。発表は下記の通りに募集しますので、ふるって応募してください。多くの皆さんの参加があることを期待しています。

### ◇「ジュニアセッション」への申し込み方

#### ◆日時・場所

- ・日本天文学会の2002年春季年会期間中（2002年3月28～30日）に、同じ会場（茨城大学、水戸）にて開催します。（正確な日時等はプログラム作成時に決定）

#### ◆講演を申し込める人

- ・中学生、高校生（高専を含む）の団体または個人。
- ・大人が加わっていても問題ないですが、主体は生徒です。

#### ◆講演内容

- ・天文学に関する研究。

#### ◆講演方法

- ・口頭発表かポスター発表を選択してください。両方での発表もできます。
- ・年会会場まで来られない場合などは、予稿とポスターを提出するだけの発表も認めています。（申し込み時にお知らせください。）

#### ◆申し込みの方法とその受理

- ・2002年1月10日（木）必着で、講演申し込みを郵便で送ってください。（封筒の表には、「ジュニアセッション申し込み」と赤い文字で書いてください。）
- ・送り先：  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内 日本天文学会年会係
- ・申し込みには、次の各項目について記載してください。書き方は自由です。
  - (a) 講演のタイトル
  - (b) 著者名、学年、学校名
  - (c) 概要（400字～800字。これは、プログラム作成の参考にします。）
  - (d) 希望する講演方法（口頭発表かポスター発表。または両方。）  
特にポスターのみを希望するときには、会場に出席するのか、それともポスターを提出するのみかを書いてください。
  - (e) 連絡先（郵便番号、住所、氏名、電話、FAX、電子メール等）

- ・申し込まれた講演については、「ジュニアセッション世話人会」で審査をし、受け付けるかどうかを申込者にお知らせします。
- ・講演申し込みが受け付けられた場合は、発表内容をA4で2ページ程度にまとめた予稿を作成して、上記の天文学会年会係まで郵送してください。これは、ジュニアセッション予稿集として印刷されます。締切は、2002年2月15日(金)を予定しています。詳しいことは、講演が受け付けられた方にご連絡します。
- ・予稿につきましても、ジュニアセッション世話人会で審査をします。
- ・なお、講演方法(口頭かポスター)は、原則的には希望どおりとしますが、場合によっては希望に沿えないこともあります。

◆発表手段

- ・口頭発表では、OHPを使用してください。
- ・ポスターを掲示するボードの大きさは、縦180cm×横90cmを予定しています。
- ・発表手段についてこの他の希望があるときには、下記の問い合わせ先まで連絡してください。可能な限り対応したいと思います。

◆その他の注意

- ・ジュニアセッションを開催することは、高校生が通常のセッションで発表することをさまたげるものではありません。通常のセッションで発表できるような内容の研究については、通常のセッションに申し込んでください。
- ・ジュニアセッションだけに参加する場合(発表

および聴講)は、年会の参加費は無料です。さらに、中学生、高校生については、そのまま通常のセッションを聴講しても構いません。年会受付での手続きのときに、ジュニアセッションに参加することや中学生・高校生であることを申し出てください。ただし、通常のセッションで講演する場合は、基本登録料等を支払っていただくことになります。

- ・ジュニアセッションにつきましては、天文学会からの旅費の支給はありません。

◆参考

- ・ジュニアセッションに関する情報は、日本天文学会のホームページに掲載されています。(http://www.asj.or.jp/をアクセスして、ジュニアセッションの項目をクリックしてください。)
- ・今までのジュニアセッションの講演内容(一部)は、日本惑星協会のホームページに掲載していただいております。(http://www.planetary.or.jp/)

◆ジュニアセッション世話人

縣 秀彦, 有本淳一, 石川直美, 大山真満, 小野智子, 鈴木文二, 谷川智康, 永井智哉, 西村昌能, 長谷川直子, 室井恭子, 矢治健太郎, 山岡 均, 吉川 真, 渡部潤一

◆ジュニアセッションについての問い合わせ先

吉川 真(世話人代表)  
TEL & FAX : 042-759-8341  
e-mail : makoto@pub.isas.ac.jp

## 寄贈図書リスト

国立天文台岡山天体物理観測所, 岡山観測所 40 周年記念誌編集委員会, A4 判, 228 p, 国立天文台岡山天体物理観測所

巨大望遠鏡時代, 野本陽代, A5 判, 206 p, 1,800 円, 岩波書店

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛, なお, 原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

## 金沢大学理学部物理学科助手

1. 助手 1 名
2. 理学部物理学科複雑系物理学講座  
宇宙物理学研究室
3. 当物理学科では, X 線, ガンマ線天文学を専門とする宇宙物理学 (実験) 研究室が新設されます。現在宇宙科学研究所の村上敏夫氏が教授で赴任する予定です。これまでの研究分野は問いませんが, 教授と協力して宇宙物理研究室を立ち上げていく若手研究者を求めます。
5. (1) 2002 年 4 月 1 日  
(2) なし

6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リストおよび主要論文別刷, (4) 今後の研究の抱負, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先
8. 2001 年 12 月 15 日必着
9. 〒 920-1192 金沢市角間町  
金沢大学理学部物理学科長 鈴木恒雄  
Tel: 076-264-5680  
E-mail: [suzuki@hep.s.kanazawa-u.ac.jp](mailto:suzuki@hep.s.kanazawa-u.ac.jp)
10. 封筒に「助手応募書類在中」と朱記し, 簡易書留で送付のこと。

## 理化学研究所研究員

1. 研究員 1 名
2. (1) 宇宙放射線研究室  
(2) 埼玉県和光市
3. 高エネルギー宇宙物理学実験
4. X 線・ $\gamma$  線衛星を用いた宇宙観測を進めつつ, 将来の宇宙観測実験を計画・遂行して頂く。とくに計画中の ASTRO-E2 衛星に搭載される HXD 装置の開発実験を主導できる方を希望する。
5. (1) 2002 年 4 月 1 日以降なるべく早い時期。
6. 原則として 35 歳以下の方で, 博士号をもつか, 2002 年 3 月末までに博士号を取得見込みの方。
7. (1) 履歴書 (写真貼付), (2) これまでの研究成果と今後の研究計画 (1500 字程度), (3) 論文リスト (レフェリー付と他を区別のこと), (4) 主要論文 2 篇の別刷 (コピー可) 各 2 部, (5) 理化学研究所理事長あての推薦書または意見書 1 通。
8. 2001 年 12 月 20 日 (木)
9. (1), (2) 〒 351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1  
理化学研究所 宇宙放射線研究室 主任研究員  
牧島一夫  
Tel: 048-467-9333  
E-mail: [maxima@crab.riken.go.jp](mailto:maxima@crab.riken.go.jp)
10. 封筒に「研究員応募」と朱書し, 簡易書留で送付のこと。